

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38507	
事業名	文化芸術施設活用費						
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課					
	課長名	木戸 拓史	担当者名	小川 桜	電話番号	011-211-2261	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	民間事業者による本格的な活用に移行するまでの間、暫定的ながらも本市文化芸術の向上に資する活用を行う。				
		長期	優れた文化芸術に接する機会を市民へ提供することにより文化芸術の振興を図り、将来を担う創造性豊かな人材を育成し、心豊かに暮らすことのできる文化の薫り高いまちづくりを実現する。				
	取組内容	令和2年4月に大通東1丁目に取得した文化芸術施設(旧北海道四季劇場)の維持管理を行う。当該施設は施設改修費等相当分を補助したうえで民間事業者へ貸し付け、劇場として運用する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により貸付希望者が現れず、当面事業を保留することとなった。劇場使用までの期間について施設の有効活用をはかるため、令和3年度は新型コロナウイルスで影響を受けている文化芸術活動者に対する支援事業を行う。					
	実施結果	当該施設は文化芸術活動を行う個人または団体に対し、令和3年10月より稽古場及び公演会場としての活用を開始した。3団体の公演利用、5団体の稽古場利用があり、全体の稼働率は45%となった。					
事業実施における工夫点	市の直営施設であるため、予約受付や貸付契約事務は市で行うが、舞台技術を熟知している業者に現地対応を委託することで、利用者の満足度向上を図った。						
対象者	市民、アーティスト、文化芸術団体等			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例						
他都市の状況							

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		47,150	52,000	75,822	54,000
うち特定財源		250	5,840	0	9,683
人工		0.0	2.0	2.0	2.0
人件費		0	14,400	14,400	14,400
計(事業費+人件費)		47,150	66,400	90,222	68,400
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 10,579千円</li> <li>・施設維持管理費(施設保守、警備)7,815千円</li> <li>・修繕費(舞台床修繕等)7,920千円</li> <li>・備品購入 7,913千円</li> <li>・借地料 30,000千円</li> <li>・その他 11,595千円</li> </ul>			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 12,753千円</li> <li>・施設維持管理費(利用管理、施設保守、機械警備、電気設備保守)11,014千円</li> <li>・借地料 30,000千円</li> <li>・その他 233千円</li> </ul>			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	施設の活用状況		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	応募者無し	活用方針決定	貸付開始	—
活動指標2	指標名	施設の稼働日数		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	—	—	83	180
成果指標1	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	公演及び稽古場としての貸付を開始し、稼働率は45%となった。初年度ながら市民の認知も進んでおり、市民が文化芸術活動を行う場所を提供できていると言える。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	都心における文化芸術活動場所を提供できており、事業規模は適切であると言える。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	現地対応を委託している業者と密に連絡を取り、施設の活用状況や改善点について意見交換を行っていることから、実施手法は適切であると言える。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	公演・稽古場ともにリピート利用があり、利用者のニーズに応えられていると言える。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外    市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	今後の劇場の活用方針を踏まえ、それに応じた施設改修等を検討する必要がある。			
前回の評価	○ A    ● B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	現地対応を委託し、効率的な施設運営を図った。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	現地対応を業者に委託する等、施設運営の効率化を図ることができた。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	○ 改善    ● 現状維持    ○ 休止・廃止 都心再開の方針に合わせた施設利用を継続する。		
	予算	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 劇場の活用方針が決定するまでは、最低限の設備維持を要する。		見直し効果額 0 千円